

令和7年度予算で取り組む主な施策

一人ひとりが多様な幸せ(ウェルビーイング)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」をめざし、「市民サービスの充実」や「府市一体による大阪の成長の実現」を柱に、さまざまな施策に取り組みます。そして、これらの施策の推進を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成へとつなげていきます。

※この記事は、3月10日現在(市会審議中)のもので、事業等の内容を変更する場合があります。

令和7年度当初予算

一般会計:2兆309億円(全会計:3兆6,118億円)



市民サービスの充実

子育て・教育環境の充実

- 0～2歳児の保育無償化に向けた取り組み
- 待機児童を含む利用保留児童の解消に向けた取り組み
- 在宅等育児への支援
- 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みの充実(産後ケア事業、休日保育支援事業など)
- きめ細やかな質の高い学校教育の推進(不登校児童生徒に対する支援など)
- こどもたちへの学び・体験の機会等の提供
- 児童虐待防止対策の充実
- ヤングケアラーの支援
- こどもの貧困に対する取り組み



イメージ

暮らしを守る福祉等の向上

- 真に支援を必要とする人々のための施策(高齢者施設や障がい者施設の整備など)
- すこやかでこころ豊かに暮らすための施策(介護予防の更なる推進“すかい”プロジェクトなど)
- 多文化共生社会の実現(外国につながる児童生徒の受け入れ・共生のための教育推進事業など)



イメージ

各区の特色ある施策の展開

- 区の特性や地域の実情に即した施策の展開

DXの推進

- Re-Designおおさか～大阪市DX戦略～の推進(区役所における「書かない、漏れがない、待たない窓口」の実現やAI電話による問い合わせ対応など、市民の利便性向上のための取り組みほか)



イメージ

2025年日本国際博覧会の開催

2025年日本国際博覧会の推進

- 国際博覧会推進事業
- 万博の成功に向けた取り組み(万博の円滑な開催のための環境整備、地域特性等を活かした機運醸成・ホスピタリティ向上、未来社会への投資)



©Expo 2025

府市一体による大阪の成長の実現

経済成長に向けた戦略の実行

- 夢洲におけるインフラ整備
- IRを含む国際観光拠点の形成
- 都市魅力の向上
- 「ゼロカーボン おおさか」の実現
- イノベーションを生み出すビジネス環境づくりと中小企業の振興
- 大阪公立大学設置による「知の拠点」の形成



御堂筋 みちの未来体験EXPOイメージ



森之宮キャンパスの完成予定イメージ 提供：大阪公立大学

都市インフラの充実

- 関西経済をけん引するまちづくり(うめきた2期区域、新大阪駅周辺、大阪城公園周辺地域、夢洲など)
- 鉄道ネットワークや交通環境の充実
- 高速道路ネットワークの充実
- 公共施設の維持管理の推進



うめきた2期区域のまちづくり 提供：UR都市機構

防災力の強化

- 防災体制の更なる充実・震災対策の推進(災害に強く持続可能な上下水道システムの構築、気候変動等を踏まえた水害への備えなど)



下水道幹線イメージ

問い合わせ 大阪市総合コールセンター ☎06-4301-7285 FAX 06-6373-3302

※各事業内容の担当部署へおつなぎさせていただくか、おつなぎできない場合は、連絡先をご案内します。なお、担当部署へおつなぎできるのは、各担当部署の開庁時間中となります。